

表4 IPCS ヒト症例収集準備研究 および OECD 高生産量化学物質プログラムリスト化学物質 (ヒト急性中毒症例収集化学物質候補リスト4)

分類番号	化学物質例	症例収集希望							分析の可否	
		臨床医1	臨床医2	臨床医3	臨床医4	JPIC職員1	JPIC職員2	JPIC職員3	生体試料外	生体試料
1	The International Programme on Chemical Safety (IPCS)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	FEASIBILITY STUDY 4 -HUMAN Data Initiative	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	Organisation for Economic Co-operation and Development (OECD)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	HPV Chemicals Programme LISTED CHEMICALS (from IPCS Information)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	1 エチレンジアミン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	2 酢酸メチル	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	3 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	4 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	5 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	6 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	7 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	8 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	9 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	10 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	11 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	12 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	13 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	14 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	15 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	16 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	17 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	18 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	19 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	20 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	21 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	22 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	23 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	24 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	25 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	26 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	27 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	28 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	29 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	30 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	31 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	32 2-メチルピロリジン	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*重複あり

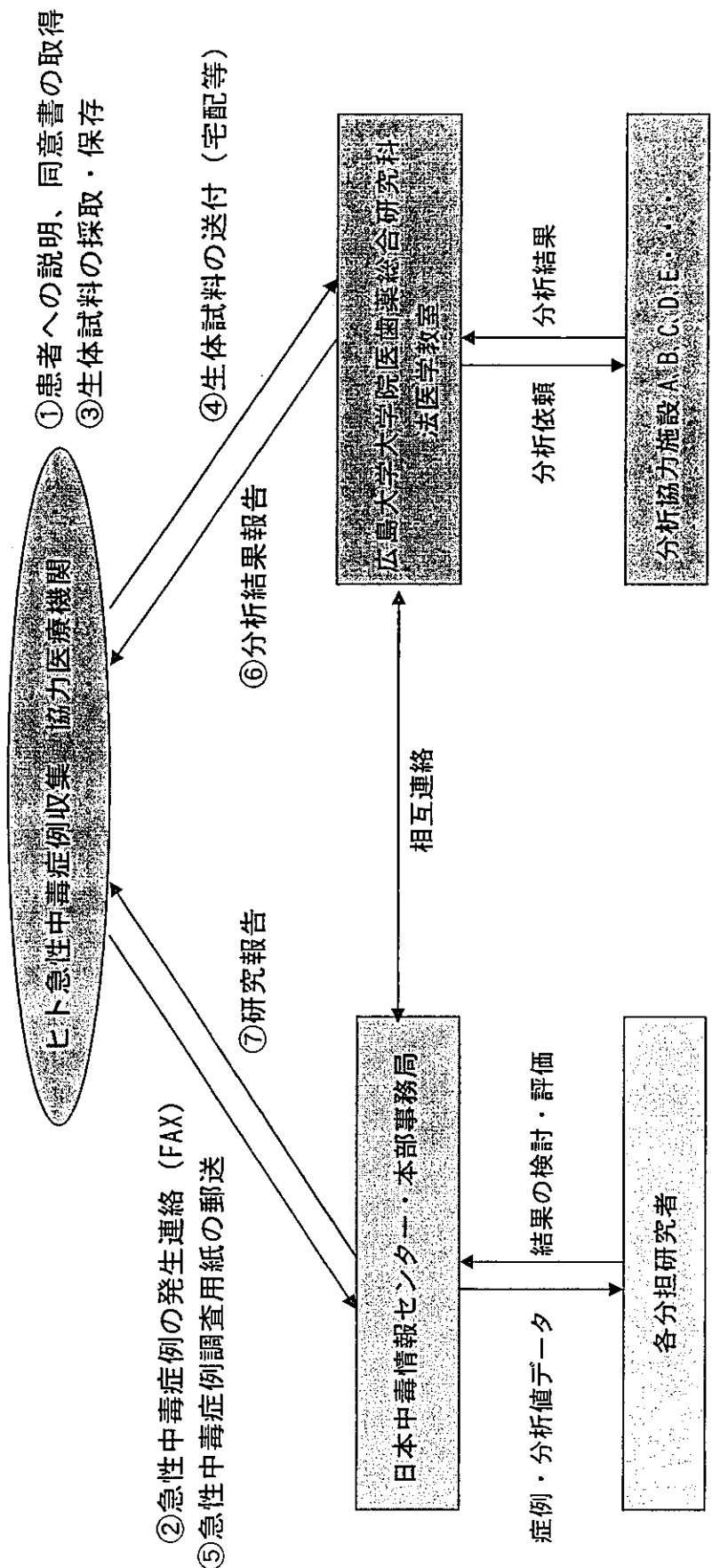


図1 ヒト急性中毒症例収集における連絡要領概念図

2003年11月18日

殿

財団法人 日本中毒情報センター
理事長 杉本 侃

分析値を含むヒト急性中毒症例収集へのご協力について（お願い）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素から当財団の活動につきましてご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、厚生労働科学研究費補助金化学物質リスク研究事業「化学物質のリスク評価におけるヒトデータの利用に関する研究」（主任研究者：杉本侃）として、分析値を含むヒト急性中毒症例の収集を全国的に行うこととなりました。

化学物質の毒性評価は、従来、動物実験の結果をもとにヒトへ外挿されておりましたが、世界的に見直され、ヒト中毒症例を収集し、その解析結果により化学物質の毒性を評価していかなくてはならないという動きが強くなっております。

本研究では、急性中毒症例の原因化学物質の定量分析を行い、得られた血中濃度と臨床症状、臨床検査結果、重症度等を比較・検討することにより、中毒症例の重症度や予後の推定が血中濃度から可能か否かを検討し、わが国の中毒医療に還元することを目的としております。

つきましては、貴院で入院加療されました急性中毒症例をご登録いただきたく、お願い申し上げます。収集対象は催眠鎮静剤や抗不安薬、および毒性評価が困難な医薬品の多種類摂取症例を除く全てであります。研究の目的上、血中濃度の測定が必須条件であります。ご協力いただけます場合は、お手数をおかけいたしまして誠に申し訳ございませんが、別添の「連絡要領」に従ってご連絡をいただきたく存じます。

収集いたしました中毒症例につきましては、当然のことながらプライバシーに係わる部分は暗号化し、非公開といたします。また、同封の資料は貴院の倫理審査委員会へ提出する研究計画書と、ご参考までに当方で作成しました患者様への説明書、同意書、同意撤回書であります。なお、分析費用は、本研究費から支払われますので、貴院のご負担は発生いたしません。

本研究の趣旨をどうぞご理解いただき、是非ご協力をくださいますよう、伏してお願い申し上げます。

末筆ながら、貴院のますますのご発展をお祈りいたしております。

敬具

同封書類

1. 厚生労働科学研究費補助金化学物質リスク研究事業 交付申請書（写し） 1部

2. 回答書 1枚

*お手数ではございますが、本研究への協力の諾否等をご記入の上、折り返し返信用封筒にてご郵送くださいますようお願い申し上げます。なお、ご協力いただけます場合は、追ってご担当者様宛に急性中毒症例調査用紙等の必要書類一式をお送りいたします。

3. 連絡要領 一式 1部
- 1) ヒト急性中毒症例収集 連絡要領
 - 2) 生体試料の採取・保存について
 - 3) 急性中毒症例の発生連絡 (FAX用紙)
 - 4) 「急性中毒症例の発生連絡」の受領および症例番号のお知らせ (FAX用紙)
 - 5) 分析のための基本データ記入用紙
 - 6) 急性中毒症例調査用紙
4. 倫理審査委員会用資料 一式 1部
- 1) 研究計画書
 - 2) 患者様への説明書
 - 3) 同意書
 - 4) 同意撤回書

この調査に関しまして、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく次の担当者までご連絡
くださいますようお願い申し上げます。

(財) 日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田
〒305-0005 つくば市天久保1-2 つくば総合健診センター内
TEL: 029-856-3566 FAX: 029-856-3533

厚生労働科学研究費補助金
化学物質リスク研究事業
交付申請書（写し）

厚生労働科学研究費補助金交付申請書

平成15年9月8日

厚生労働大臣 坂口力 殿

住所 〒665-0013 宝塚市宝梅2丁目8-11
 フリガナ サキモ ツシ
 申請者氏名 杉本 侃 (本)
 生年月日 1932年 3月 21日 生

平成15年度厚生労働科学研究費補助金（化学物質リスク 研究事業）交付申請について
 標記について、次により国庫補助金を交付されるよう関係書類を添えて申請する。

1. 申請金額 : 金 54,120,000 円也 (うち間接経費 9,020,000 円)
2. 研究課題名 (課題番号) : 化学物質リスク評価におけるヒトデータの利用に関する研究
 (15210301)
3. 研究事業予定期間 : 平成15年 4月 1日から平成16年 3月 31日まで
 (3) 年計画の (1) 年目
4. 申請者及び経理事務担当者

申請者	①所属機関 (部局)	(財)日本中毒情報センター	②所属機関 所在地	〒305-0005 茨城県つくば市 天久保1丁目2番地
	③連絡先 TEL・FAX E-mail	TEL 029-856-3566 FAX 029-856-3533 t-yoshiok@alto.ocn.ne.jp	④所属施設における職名	理事長
	⑤最終卒業学校・卒業年次及び学位	大阪大学医学部 昭和30年卒業 医学博士	⑥専攻科目	救急医学
経理事務担当者	(フリガナ) <u>カガチチキ</u> ⑦氏名 <u>川口 千秋</u>	⑧所属部・課名 TEL・FAX E-mail	茨城県つくば市天久保1丁目2番地 日本中毒情報センター本部事務局 TEL029-856-3566 FAX029-856-3533 ckawaguchi@j-poison-ic.or.jp	⑨事務の委任の有・無 有

5. 研究組織

①研究者名	②分担する研究項目	③最終卒業学校・卒業年次・学位及び専攻科目	④所属施設及び現在の専門 (研究実施場所)	⑤所属施設における職名	⑥研究費配分予定額 (千円)
杉本 侃	研究の総括	昭和30年大阪大学 医学部卒医学博士	日本中毒情報センター 救急医学	理事長	3,100
吉岡敏治	研究計画とヒト中毒症例収集 (総括)	昭和46年大阪大学 医学部卒医学博士	日本中毒情報センター 救急医学	常務理事	20,000
大橋教良	ヒト中毒症例重症度評価の検討	昭和48年千葉大学 医学部卒	日本中毒情報センター 救急医学	理事	3,000
白川洋一	毒作用メカニズム、体内動態シミュレーションの検討	昭和47年東京大学 医学部卒医学博士	愛媛大学医学部 救急医学	教授	3,000
波多野弥生	ヒト中毒症例データベースの構築	昭和62年大阪大学 薬学部卒	日本中毒情報センター 中毒学	課長	3,000
黒木由美子	中毒情報センターのヒト症例収集および海外の症例収集実態調査	昭和62年九州大学 大学院卒 薬学博士	日本中毒情報センター 中毒学	施設長	3,000
屋敷幹雄	ヒト中毒症例の毒物分析評価と分析精度管理 (総括)	昭和43年近畿大学 大学院卒 医学博士	広島大学大学院 法医中毒学	助教授	10,000

6. 研究の概要

本研究は、化学物質によるヒトの急性中毒症例を、分析値および中毒臨床医の評価とともに収集する全国的な統一システムを構築し、化学物質のリスク評価に資することを目的とする。

症例収集する化学物質は、分担研究者または研究協力者の中毒臨床医、中毒センター情報提供者、毒性学者、リスク評価者の提案をもとに重症度、発生頻度、必要度等から決定する。

ヒト症例収集を依頼する病院は、高度救命救急センター、あるいは平成12年度に中毒分析機器が配備された救命救急センター等、中毒患者が多く、かつ、毒物分析が可能な施設とし、これに日本中毒情報センターが全国的に収集したヒト中毒症例を検討に加える。なお、一部重要症例については、分析ネットワークを活用して分析を行う。

症例収集と同時に、①ヒト症例収集データベースの構築、②中毒症例重症度評価の検討、③毒作用ノモグラムや体内動態シミュレーションによる予後推定の検討、④分析方法の統一、分析精度管理、および症例の分析値評価、⑤ヒト中毒症例からのリスク評価方法の検討、⑥海外でのヒト症例収集実態調査等を行う。

これらの結果から、化学物質によるヒト中毒症例収集－臨床評価－分析値評価－リスク評価の統合システムを確立する。

7. 研究の目的、必要性及び期待される成果

これまで化学物質のリスク評価は、動物実験の毒性値（LD50値等）が用いられてきたが、ヒトで発現する毒性への外挿は困難であり、かつ、近年は、動物保護の観点から動物を使用した毒性実験は必要最小限に留められている。ヒト培養細胞等での毒性評価も試みられているが、リスク評価は困難である。新規化合物が次々と市場に登場する一方、化学物質がヒトへ及ぼす影響、毒性の予測はますます困難な状況になっている。

本研究では、化学物質によるヒト中毒症例を全国規模で統一フォームにより収集し、臨床症状や毒物分析値を評価して、シミュレーションすることにより予後を推定したり、化学物質のリスク評価へ役立てることを最終目的とする。

この研究の成果により、ヒト中毒症例収集－症例評価－リスク評価システムが確立できれば、化学物質による健康被害の実態把握、予後推定等の中毒治療対策、健康被害の予防ならびに啓発活動の実施が可能となる。

8. この研究に関連する国内・国外における研究状況及びこの研究の特色・独創的な点

International Programme on Chemical Safety (IPCS : WHO, ILO, EPNの協同プログラム) は、2001年、イギリスのエジンバラにおいて、中毒臨床医・中毒情報提供者と、リスク評価担当者・毒性学者の相互理解を深めるための会議を開催した。会議では、両者に加え、毒物分析者、法医学者、労働衛生学者等の研究者にも広く呼びかけ、化学物質のリスク評価のためのヒト症例収集が必要であることが訴えられた。この会議を受けて、IPCSは2002年、世界各地の7つの中毒センター（イギリス、フランス、スイス、ドイツ、オーストラリア、ウルグアイ、日本）に協力を依頼し、ヒト症例収集のための準備研究を開始した。エチレングリコール、フッ化水素など7つの化合物について、各中毒センターから、該当するヒト症例が集められ、収集方法、評価方法等の問題点が検討されている。日本では、日本中毒情報センターがこの準備研究に参加したが、日本国内では、統一フォーマットでヒト中毒症例を収集する実稼働システムは未だなく、評価方法も確立していない。本研究の成果により、ヒト症例収集システムが稼働すれば、IPCSのヒト症例収集計画と照らし合わせ、世界規模のヒト症例収集、化学物質のリスク評価に参画が可能となる。

9. 申請者がこの研究に関連して現在までに行った研究状況

主任研究者の杉本は、1994, 95年度には厚生科学研究費補助金「化学中毒の情報ネットワークシステムの構築に関する研究」を実施、1996, 97年度は厚生科学研究費補助金「特殊な災害医療の技術開発、体制確保に関する研究：化学物質による集団災害に関する研究」、1998～2000年度は厚生科学研究費補助金「化学物質等による集団災害時の救助体制確立に関する研究」、2000～2002年度は、「化学兵器に関するデータ・ベースの作成と危機管理マニュアルの策定に関する研究」の主任研究者を努めた。

分担研究者の吉岡は、1998～2000年度厚生科学研究費補助金「中毒情報の自動収集、自動提供システムの構築とそのパイロットスタディ」、2001, 2002年度は厚生科学研究費補助金「中毒医療における教育のあり方と情報の自動収集・自動提供、公開ネットワークの構築に関する研究」の主任研究者を努めた。また、1998年には「原因不明の中毒事故における情報提供体制のあり方と発生初期の分析法に関する研究」の主任研究者を努め多くの診断・治療ソフト、簡易分析法等を開発してきた。

いずれの成果や経験も本研究の基礎となるものである。

10. 研究計画・方法及び倫理面への配慮

(1) 症例収集する化学物質の選定：分担研究者または研究協力者の中毒臨床医、中毒情報提供者、毒性学者、リスク評価者がそれぞれ重症度、発生頻度、リスク評価の必要度の観点から互いに化学物質をリストアップする。それを中毒分析者が分析可能な品目を検討し、収集する化学物質を決定する。なお、選定に際し、日本中毒学会分析のあり方委員会提唱の中毒分析が必要な15品目、IPCSのヒト症例収集に関する化合物リストも参考にする。また、個々の施設で分析が困難な場合でも、必要に応じて分析ネットワークを活用し、重要な中毒症例は収集の対象とする。

(2) ヒト中毒症例の収集方法：高度救命救急センター、あるいは平成12年度に中毒分析機器が配備された救命救急センター等、中毒患者が多く、かつ、毒物分析が可能な施設に依頼し、分析値付きの中毒症例を収集する。これに日本中毒情報センターが1986年から全国的に収集しているヒト中毒症例（約8000症例）の中から該当する化合物の症例を加え、検討を行う。

(3) ヒト中毒症例データベースの構築：日本中毒情報センターが現在保持している症例データベースとIPCSがインターネットを介した症例収集に使用を試みているINTOXデータベース、米国中毒センター協会（ATCC）の症例収集システム（TESS）の収集項目および定義を比較検討し、独自の統一フォームを作成する。これを仮稼働し、臨床医からの評価を得て改良していく。また、可能な限りIPCSが行う世界規模の症例収集項目を取り入れ、協力可能なデータベースとする。

(4) ヒト中毒症例重症度評価：IPCSが提唱している急性中毒症例評価のためのPoisoning Severity Score（各器官・臓器別の症状や臨床検査値等から軽症、中等症、重症、死亡の分類した1～4のスコア）を参考に、日本における中毒症例重症度評価の方法を検討する。さらに、収集したヒト中毒症例の評価を試みる。

(5) ヒト中毒症例の予後推定：収集された症例の分析値から血中濃度と毒作用のノモグラム作成や、摂取量が明らかな症例の血中濃度曲線から摂取量が不明の症例について体内動態シミュレーションを行う等、中毒症例の予後の推測が可能かどうか中毒分析者と協力して検討を行う。

(6) ヒト中毒症例の分析評価：各病院で行われる分析方法をできる限り調査し、比較検討可能な分析方法を確立する。分析の精度管理を行う。得られた分析値と臨床症状を比較検討し、予後推定の可能性について検討する。

(7) ヒト中毒症例からのリスク評価：収集されたヒト中毒症例から化学物質のリスク評価が可能かどうか、毒性学的立場から評価し検討を行う。

(8) 海外のヒト中毒症例収集システムの実態調査：IPCSヒト症例収集計画の協力国における症例収集システム（急性中毒、慢性中毒）の実態調査を行い、日本におけるヒト症例収集システムの構築に参考とする。

倫理面への配慮

当然のことではあるが、収集したヒト中毒症例の公開に関しては、一般の症例報告に準じ、プライバシーは厳守する。また、独自に収集したデータについては公開を前提として収集した情報以外の秘密保持は厳守する。

回答書

分析値を含むヒト急性中毒症例収集の研究について

1. 協力いたします
2. 協力できません

年 月 日

貴施設名 _____

ご所属(役職) _____

ご氏名 _____ 印

ご協力していただける場合は、日本中毒情報センターから連絡可能なご担当者について
ご教示ください。

ご担当者名 _____

ご所属(役職) _____

連絡先電話番号 _____

FAX番号 _____

e-mailアドレス _____

回答書返送先(別添の返信用封筒をご利用ください)

(財)日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田
〒305-0005 つくば市天久保1-2 つくば総合健診センター内
TEL:029-856-3566 FAX:029-856-3533

連 絡 要 領

ヒト急性中毒症例収集 連絡要領

1) 対象

下記の①②の条件を満たす症例となります。

- ①医薬品、農薬、工業用品、家庭用化学製品などすべての化学物質による急性中毒で、入院加療を要した症例
ただし、医薬品のうち、「催眠鎮静剤」または「抗不安薬」の摂取症例、および多剤摂取症例を除く
- ②血中濃度の測定が必須のため、血液試料を採取後、送付いただける症例

2) 連絡方法

対象に該当する中毒患者が来院し、同意書を取得しえた場合、以下の方法でご連絡をお願いいたします。

- ①「生体試料の採取・保存について」に従い、生体試料を採取・保存してください。
- ②「急性中毒症例の発生連絡(FAX用紙)」を記入し、日本中毒情報センターへ FAX(029 856-3533)にて送信してください。
- ③日本中毒情報センターから、「急性中毒症例の発生連絡の受領および症例番号のお知らせ(FAX用紙)」をFAXにて返信いたします。
- ④広島大学大学院医歯薬学総合科法医学教室へ生体試料を送付してください。
・送付方法と宛先は、「生体試料の採取・保存について」をご参照ください。
・③でお送りした「急性中毒症例の発生連絡の受領および症例番号のお知らせ(FAX用紙)」と「分析のための基本データ記入用紙」をホッチキス止めし、必ず生体試料に同封してください。
- ⑤「急性中毒症例調査用紙」を患者の治療終了後に記入し、日本中毒情報センターへ郵送してください。

以上

この調査に関しまして、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく次の担当者までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

(財)日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田

〒305-0005 つくば市天久保1-2 つくば総合健診センター内

TEL:029-856-3566 FAX:029-856-3533

生体試料の採取・保存について

事前に以下の注意事項を確認の上、生体試料の採取・保存をお願いいたします。
なお、ご不明な点は試料送付先(広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学)まで、ご連絡ください。

1) 試料保存容器：

- ・血液凝固剤などは、血中濃度に影響を与えるおそれがあるため、採取機材・保存容器ともに添加剤の使用していないものを使用すること。
- ・試料保存容器には、ガラス製アルミキャップ付試料ビン（容量6cc程度、例えば、WHEATON（商品名）など）を使用する（用意できない場合には、各病院で使用している容器でも可）。
- ・採取した試料は、試料容器の6～7割程度の容量を入れる。

2) 試料の採取方法：

- ・個々の試料保存容器に患者名、日時、試料の種類（血清、尿など）を明記した後、試料を入れる。試料の取り違えがないよう、細心の注意を払う。
 - ・試料は、再検査が可能なように、必ず2本に分けて保存する。
- 血液：定法に従い、採取した血液を試験管（プレインスピッツ：抗凝固剤や血清分離剤、凝固促進剤の入っていないもの）2本に10ccずつ採り、10分程度室温で放置して十分にフィブリンを析出させる。その後、遠心分離して得られた血清を試料保存容器2本に入れる。
- 尿：そのまま前述の試料保存容器（2本）に採取する。一時点の尿か、1時間の尿か、1日の蓄尿かを、容器および別紙「分析のための基本データ記入用紙」の検査試料備考へ明記する。
- 胃内容：胃洗浄をする際は、微温湯や生食を入れる前に、胃内容物を吸引し、そのまま前述の試料保存容器（2本）に採取する。
- その他、死亡例の臓器等については別途ご相談ください。

3) 保存方法：

- ・ -20°C 以下で凍結保存する（通常の冷凍庫（ -5°C 前後）で保存しても良いが、 -20°C 以下が望ましい）。

4) 採取時期：

- ・入院時の試料を採取する。また、症状の変化が見られた時の他、臨床検査のための採血時、血液浄化法を行った時の前後などに採取する。試料採取までに気管内挿管等で薬物を使用した場合等も含め、採取時の状況に関して特記すべきことがあれば、別紙「分析のための基本データ記入用紙」の7)その他または検査試料内容の備考欄に明記する。

5) その他：

- ・現場に残された中毒原因物質があれば保存しておく。
- ・採取した試料の汚染(contamination)に十分注意する。

6) 送付方法：

- ・他の試料への汚染がないように、個々の試料ごとに分別包装することが望ましい（密閉できるチャック付きのビニール袋に入れるなど）。
- ・試料の送付は、病院間メール便（SRL）や民間の宅配便（着払い）を利用する。宅配便を利用する際は、“冷凍”での送付を指定すること。土、日、祝祭日の受け取りができないため、週初めに発送する。
- ・「急性中毒症例の発生連絡の受領および症例番号のお知らせ」と「分析のための基本データ記入用紙」をホッチキス止めし、必ず同封する。

7) 送付先：

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
広島大学大学院医歯薬学総合研究科法医学 屋敷幹雄
TEL:082-257-5171 FAX:082-257-5174

年 月 日

財団法人 日本中毒情報センター
本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 行
FAX : 029-856-3533

急性中毒症例の発生連絡 (FAX 用紙)

連絡者	所属		氏名	
担当医師	所属		氏名	
病院名				
住所				
電話番号		FAX 番号		

*可能な範囲で結構ですので、[] 内は該当するものに○を、() にはご記入をお願いします。

- 1) 患者イニシャル()
- 2) 患者年齢 ()才()か月 [確定・推定・不明]
- 3) 患者性別 [男性・女性]
- 4) 推定起因物質名 ()
含有成分()
- 5) 推定摂取量 () 単位[mL・L・mg・g・その他()]
- 6) 摂取時間 ()月()日()時()分(24 時間表記) [確定・推定・不明]
- 7) 受診時間 ()月()日()時()分(24 時間表記)
- 8) その他

()

*急性中毒症例調査用紙は治療終了後に記入し、次の担当者までご送付くださいますようお願い申し上げます。

(財) 日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田
〒305-0005 つくば市天久保 1-2 つくば総合健診センター内 TEL 029-856-3566

本用紙は、先生から FAX いただいた「急性中毒症例の発生連絡」を受けて、日本中毒情報センターから先生宛 FAX する用紙です。ご参考までに添付いたします。

年 月 日

先生

FAX:

(財)日本中毒情報センター 本部事務局
ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田
TEL:029-856-3566 FAX:029-856-3533

「急性中毒症例の発生連絡」の受領および症例番号のお知らせ(FAX 用紙)

前略 このたびは「急性中毒症例の発生連絡」をいただき、誠にありがとうございました。
ご連絡いただきました症例の症例番号を下記のとおりお知らせいたしますので、ご確認をお願いいたします。

ご多忙の折、大変恐縮ですが、採取いただきました生体試料を広島大学大学院医歯薬学総合科法医学教室宛ご送付くださいますようお願い申し上げます。なお、試料送付の際には、本状と「分析のための基本データ記入用紙」をホツチキス止めし、必ず生体試料に同封していただきますようお願いいたします。

また、治療が終了いたしましたら、「急性中毒症例調査用紙」をご記入の上、日本中毒情報センター宛ご郵送くださいますようお願い申し上げます。

以上、取り急ぎご連絡申し上げます。

草々

記

症例番号

以下は先生からお送りいただきました FAX 用紙 写しです。

- 1) 患者イニシャル()
- 2) 患者年齢 ()才()か月 [確定・推定・不明]
- 3) 患者性別 [男性・女性]
- 4) 推定起因物質名 ()
含有成分()
- 5) 推定摂取量 () 単位 [mL・L・mg・g・その他()]
- 6) 摂取時間 ()月()日()時()分(24 時間表記) [確定・推定・不明]
- 7) 受診時間 ()月()日()時()分(24 時間表記)
- 8) その他

この調査に関しまして、ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく次の担当者までご連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

(財)日本中毒情報センター 本部事務局 ヒト急性中毒症例収集担当 黒木/飯田
〒305-0005 つくば市天久保1-2 つくば総合健診センター内
TEL:029-856-3566 FAX:029-856-3533

分析のための基本データ 記入用紙

担当医師	所属		氏名	
病院名				
E-mail アドレス				
電話番号		FAX 番号		

- 1) 患者 イニシャル() 年齢()才()か月 [男性・女性]
- 2) 起因物質の推定に役立つ状況証拠(例:患者の傍に薬物 A の空箱が転がっていた)
 []
- 3) 臨床症状
 []
- 4) 医療機関で推定した化学物質の有無 [有・無]
 有の場合:化学物質名()
 推定の根拠:[症状から・簡易検査から・その他()]
- 5) 医療機関での機器分析の有無 [有・無]
 有の場合:化学物質名()
 推定の根拠:[HPLC の結果・GC の結果・その他()]
- 6) 試料の保存状況 [冷蔵・冷凍]
- 7) その他 (肝炎抗体、緊急細菌検査の有無等)
 []

検査試料内容

試料 NO.	採取日時	種類	本数	備考	分析結果* (報告時に使用します)
1	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
2	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
3	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
4	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
5	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
6	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
7	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
8	200 / / :	血清・尿・胃内容 その他()			
(例)	2003/10/15 21:00	血清・尿・胃内容 その他()	2	1 時間尿	

生体試料の送付の際には、日本中毒情報センターから FAX にてお送りする「急性中毒症例の発生連絡の受領および症例番号のお知らせ」と本状をホッチキス止めし、必ず試料に同封してください。

症例番号*
(*の項目は記入しないでください)

急性中毒症例調査用紙

基本情報

記入年月日 20 年 月 日

施設名										
記入者名										
記入者所属							連絡先TEL			
患者	年齢	歳	カ月	男・女	体重()kg	職業()				
既往症の有無	1. 無, 2. 有()						9. 不明			
中毒原因物質	商品名(物質名)			量(単位もあわせて)						
経路	1. 経口, 2. 吸入, 3. 経皮, 4. 眼, 5. 耳, 6. 咬傷, 7. 刺傷, 8. 注射(具体的に), 9. 粘膜(具体的に), 10. 胎盤, 11. 全身曝露, 98. その他(具体的に), 99. 不明									
発生年月日	20	年	月	日	時	分	(24時間表記) (午前・午後) (確定・推定・不明)			
発生場所	1. 居住内, 2. 職場(具体的に), 3. 医療施設, 4. 高齢者施設, 5. 学校・幼稚園・保育所, 6. 屋内の公共スペース(具体的に), 7. 車内(具体的に), 8. 屋外(具体的に), 9. 不明, 98. その他(具体的に), 99. 不明									
状況	1. 不慮 [1. 労災, 2. 医療上の事故, 3. その他の誤使用, 8. その他の不慮の事故, 9. 不明] 2. 故意 [1. 自殺企図, 2. 医療上の事故, 3. その他の誤使用, 4. 乱用, 6. 悪意による事故, 9. 不明] 8. その他(具体的に), 9. 不明									
現病歴 /曝露状況										
受診年月日	20	年	月	日	時	分	(24時間表記)			
症状の有無	来院前(主訴)		1. 無, 2. 有, 9. 不明							
	来院時(初診時所見)		1. 無, 2. 有							
	初診時		体温	℃	血压	/	脈拍数 /分, 呼吸数 /分, 意識レベルGCS=E()V()M()			
	来院後(経過中症状)		1. 無, 2. 有							
処置の有無	来院前		1. 無, 2. 有, 9. 不明							
	来院後		1. 無, 2. 有							
診断										
症状との因果関係	1. 無, 2. 有→()						9. 不明			
入院期間	20	年	月	日	~	20	年	月	日	
外来通院期間*	20	年	月	日	~	20	年	月	日	*退院後フォローを含む
転院有無	1. 無, 2. 有→転院目的 1. 重症管理, 2. 略治フォロー, 3. 中毒以外の基礎疾患の治療, 8. その他(具体的に)									
	転院先病院名, 診療科, 担当医名, 電話番号									
転帰	1. 完治, 2. 略治, 3. 死亡, 9. 不明 死亡の場合 死亡年月日・時刻 月 日 時 分 死因:									
後遺症の有無	1. 無, 2. 有→()						9. 不明			
重症度	1. 無症状, 2. 軽症, 3. 中等症, 4. 重症, 5. 死亡									

急性中毒症例調査用紙

症状 1

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
曝露時の 刺激症状・ 不定愁訴	経口摂取時の刺激症状	口唇・舌のしびれ感/刺激感/灼熱感/咽頭部不快感/咽頭部絞扼感/食道痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	呼吸器の刺激症状	鼻汁/鼻閉/鼻かぜ/くしゃみ/咳嗽/呼吸困難/胸部不快感(吸入)/咳痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化器系の刺激症状	悪心/嘔気/嘔吐/食欲不振/腹部不快感/胸部不快感(経口)	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	神経系の刺激症状	頭痛/頭重/めまい/耳鳴り	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	循環器系の刺激症状	動悸/心悸亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	顔面紅潮	顔面紅潮/発汗/冷汗/四肢温感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	顔面蒼白	顔面蒼白/倦怠感/疲労/四肢冷感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	発熱 [体温は特記事項へ]	悪寒/発熱/高体温	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	体温低下 [体温は特記事項へ]	体温低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	胸痛	胸痛/非心原性胸痛/胸部圧迫感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	失神	失神/脱力感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	失禁	尿失禁/便失禁	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	呼吸器 症状	頻呼吸 [呼吸数は特記事項へ]	頻呼吸/過呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明
呼吸抑制 [呼吸数は特記事項へ]		呼吸抑制/呼吸数減少/低換気/無呼吸/窒息/クスマウル大呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
努力性呼吸		努力性呼吸/陥没呼吸/シーソー呼吸/緩徐呼吸/起座呼吸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
咽頭・喉頭浮腫		咽頭・喉頭浮腫/声門浮腫/咽頭・喉頭牽縮/上気道浮腫	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
喘息様発作		喘息様発作/喘息/喘鳴/気管支攣縮/気管支痙攣	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
湿性ラ音		湿性ラ音	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
呼吸筋麻痺		呼吸筋麻痺/呼吸麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
呼吸不全		呼吸不全/ARDS	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
肺水腫		ピンクの泡沫状痰	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
喀血		喀血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
循環器 症状	チアノーゼ	チアノーゼ	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	浮腫	浮腫/血管透過性の亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	頻脈 [脈拍は特記事項へ]	頻脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	徐脈 [脈拍は特記事項へ]	徐脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	不整脈(EKGなし)	不整脈	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	高血圧 [血圧は特記事項へ]	高血圧/血圧上昇	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	低血圧 [血圧は特記事項へ]	低血圧/血圧低下/ショック/脈拍微弱	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
心不全	心不全/心筋障害/心機能不全/うっ血性心不全	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明		
消化器系 症状	口臭	金属臭/にんにく臭/フェノール呼吸臭/アーモンドオイル臭/ニコチン臭	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	口渇	口渇/口内乾燥感	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	味覚異常	味覚・嗅覚機能の低下/苦味/酸味/金属味	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
	嚥下困難	嚥下困難	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	口腔粘膜異常	口腔内浮腫/口内粘膜の発赤/口腔・咽頭粘膜の充血/口内びらん/口腔の粘膜欠損/口腔内黄白色漬瘍形成/口腔内出血/歯肉に青い線/舌潰瘍/咽頭粘膜のびらん/口内炎/舌炎/歯肉炎/黒毛舌症/唾液腺炎/咽頭炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	唾液分泌異常	唾液分泌過多/流涎/唾液・消化液の分泌低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	嘔吐 (経口時の一般症状と区別)	激しい嘔吐/頻回の嘔吐	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	下痢	軟便/粘液便/粘血便/下痢	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	便秘	便秘	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化管出血	消化管出血/吐血/血便/血性下痢/タール便/下血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	消化管穿孔	消化性潰瘍/食道・胃穿孔/消化管穿孔/食道壊死	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腹痛	吃逆/胸やけ/おくび(げっぷ)/上腹部不快感/下腹部不快感/心窩部圧迫感/腹部膨満感/心窩部痛/上腹部痛/腹部痛/腹部痙攣/胃痙攣/子宮収縮/流産	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腸蠕動亢進	鼓腸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腸蠕動低下	腸蠕動の低下・消失/イレウス/痙攣性イレウス	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	脾臓の異常	脾炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	脾腫	脾腫	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
神経・精神 症状	意識障害 [意識レベルは特記事項へ]	意識障害/興奮/酩酊/傾眠/嗜眠/昏迷/昏睡/中枢神経抑制	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	見当識障害	見当識障害	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	記憶障害	記憶障害/健忘症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	言語障害	言語障害/構音障害/失語症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	精神症状	せん妄/パニック/不安/躁病錯乱/興奮多幸症	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	幻覚	幻聴/幻視	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	感覚異常	四肢しびれ感/末梢の灼熱感/知覚異常/先端疼痛症/知覚鈍麻/知覚脱失/固有感覚障害(触覚・振動感覚の減弱)/末梢神経炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	ギランバレー症候群	ギランバレー症候群	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	痙攣	痙攣/振戦/ふるえ/ミオクローヌス様の痙攣/テタニー/強直性発作/ミオクローヌス	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	筋線維性痙攣	筋線維性痙攣	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腱反射減弱	深部腱反射の減弱	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腱反射亢進	深部腱反射の亢進	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	運動失調	運動失調/協同運動失調/パーキンソン症候群/舞踏病/跛行病/歩行失調/判読しにくい筆跡	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	筋力低下	筋力低下/脱力/筋の緊張低下/弛緩性麻痺/四肢麻痺/不全麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
肝症状	肝臓の異常	肝腫大/肝の圧痛/急性肝炎/劇症肝炎/肝性昏睡/肝障害/肝毒性/肝炎/腹水/肝不全/脂肪肝/黄疸/肝細胞性黄疸/胆汁うっ滞性黄疸/胆道閉塞性黄疸	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
腎・泌尿器 症状	排尿障害・尿閉	排尿障害/排尿痛/尿閉	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	腎不全	腎不全/急性尿管管壊死/近位尿管管損傷/尿管尿管障害/腎障害/腎毒性/腎炎/乏尿/尿量減少/無尿/濃縮尿/低張尿	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	尿色調・臭の異常	着色尿/暗赤色尿/アーモンドオイル臭尿/褐色尿/メヘモグロビン尿	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

急性中毒症例調査用紙

症状 3

器官別	登録症状 (該当するものに○)	症状・徴候 (該当するものに○)	出現年月日・時刻	消失年月日・時刻	特記事項
	血尿(肉眼的)	血尿(肉眼的)	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
眼症状	視力障害	視力障害/一過性の盲目/視野狭窄/複視/視界の白色化/霧視/弱視/失明	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	羞明・眼痛	羞明/眼痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	色覚異常	色覚異常	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	縮瞳	縮瞳	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	散瞳	散瞳	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	対光反射の遅延	対光反射の遅延/対光反射の遅鈍化	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	眼振	眼振/垂直眼振/眼筋麻痺	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	角膜・結膜異常	角膜刺激症状/眼瞼穿孔/結膜刺激症状/結膜炎/流涙/充血	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	眼内異常(眼底所見全て)	虹彩炎/水晶体色素沈着/白内障/球後神経炎/視神経炎	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
耳鼻咽喉症状	口腔粘膜刺激症状	咽頭痛/粘膜浮腫/粘膜腐食	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	発声異常	失声/嗄声	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	聴力障害	聴力障害/聴力低下	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	鼻粘膜刺激症状	鼻漏/刺激症状/充血/鼻出血/紅斑/浮腫/鼻中隔潰瘍・穿孔	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	嗅覚異常	嗅覚異常/嗅覚喪失	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
皮膚症状・その他	関節痛	関節痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	筋痛	筋痛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	皮膚の異常	湿疹/紅斑/出血斑/落屑/蕁麻疹/塩蒸挫そう/丘疹/紅色粟粒疹/水疱/蜂巣炎/黄斑/白斑/脱色/接触性皮膚炎/皮膚潰瘍/熱傷/乾燥/発赤/浮腫/壊死	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
	爪・毛髪 of 異常	爪異常/脱毛	月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
その他			月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	
			月 日 時 分 確定・推定・不明	月 日 時 分 確定・推定・不明	

その他 症状関連 特記事項